

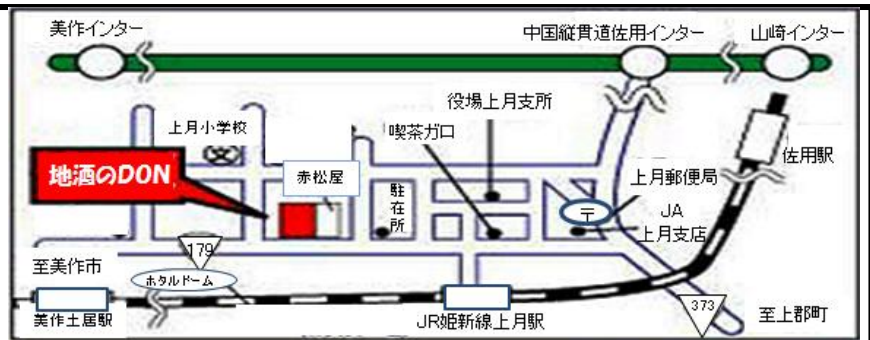
純米爛の伝道師

地酒の

ど  
ん  
DON

佐用郡佐用町上月1030-4  
電話 0790-86-1235  
FAX 0790-86-1236  
ホームページ <http://don-sayo.com>  
(地酒のDONで検索)

営業時間  
朝8時～夜7時  
定休日:火曜日



よ〜いDON  
かわらばん

瓦版

第十六号

### (純米酒のお買い物まとめ) 純米爛の文化とは・・・??

「純米酒を爛酒で呑む文化」すなわち「人生に寄り添い、心に安らぎをもたらす純米酒」が、そのポテンシャルを如何なく発揮する「爛酒」こそが、「ワイン文化」との相違を浮かび上がらせる。  
(純米酒のDON Yahoo店 まとめページより転載)

日本酒は爛につけてこそ、そのポテンシャルを発揮!

味覚の「旨味」や「甘味」は、40～50度の温度帯で、一番感じられる。だから「純米酒」の甘味・旨味が一番感じられるのは爛酒だ。温かいと旨いが、冷めると辛いと感じる「味噌汁」と同じなのだ。完全発酵純米酒は、ある意味、日本食に寄り添う「味噌汁」を目指す。

#### 「ワイン文化」には積極的に「温めて」呑む文化がない

日本酒は真っ当に醸せば、「冷酒」「冷や(常温)」「爛酒」と幅広い温度帯で呑むことができる酒質である。赤ワインは「常温近辺」、白ワインは「やや冷やした温度帯」などといわれる「ワインの酒質」とは決定的に違う。

寒いときに体を温めることを目的として、香辛料を入れた「グリュウワイン」などを爛にして呑むこともあるが、美味しいからという理由で、積極的に温めると言う訳ではないからね。

#### 伝統ある「純米爛文化」が世界を席卷するか?

酒質に関して「ワインは複雑」、「日本酒は単純」と評されることが多いが、果たしてそうだろうか? 「純米爛酒」の酸の複雑さ、旨味の奥深さからくる「滋味深さ」こそ日本酒が誇れる酒質だ。まさに「人生に寄り添い安らぎを与える酒」と言えまいか?

#### 人生に寄り添う・・・お酒とは・・・??

あるお酒を「どれよりも美味しい」と言う弟さんのため当店でお買い求めになっていたお姉さん。お姉さんにしてみれば 余命もそんなに残っていない弟の唯一の楽しみのお酒が 弟の心を安らげてくれるのであれば 最期まで呑ませてあげたい、とのお考えだったと思う。このお客様が来店され・・・「もう弟にお酒を届けることができなくなったんよ。先日急に亡くなってしまった」と涙ながらに語られた。このようにお客さま

の人生の一部として 最期までお客様に寄り添っているお酒なのだが・・・余命幾許もないお客さまに、致酔飲料であり病人の体には決して良くないであろう酒というものを販売することに対しては 矛盾を感じることも当然ある。このようなお客様方に対して、どのように

向かい合っていくか・・・幾度となく私は自問自答する。しかし間違いなく言えることは「お酒」というものは「そっと人生に寄り添い、心に安らぎを与えてくれる文化である」ということだ。だからこそ酒屋は「日本の酒文化」を正しく普及させ「酒」を通して「お客さまの人生」を和やかに安らぎを与えるべく 邁進したいと考える。(当店では未成年者にお酒を販売致しません。価格は税込み表示)

人生に寄り添う純米酒が続々入荷中! (当店HPバナーより)

#### 究極の強力米が復活!

野性味あふれる酸は、まるで夏ミカンキレキレの酸の迫力に酔ってください。

日置桜 先祖帰り強力純米 H25BY(内田米) 1.8L

3,024円 詳細はクリック!

#### 日本酒度「+19」って?

これぞ完全発酵純米酒の極みでも・・・米の旨味しっかり、キレル酸!

辨天娘 生酏玉栄純米 H24BY 18番娘1.8L

3,600円 詳細はクリック!

#### 爛も美味しい「にごり酒」

トロ〜リ、キレキレで、すべらか米の旨味たっぷり乳酸菌飲料のよう。

竹泉 純米にごり酒 1.8L

2,916円 詳細はクリック!

#### ようやく目覚めた!

平成10年に搾られた大古酒。上原先生に「私の眼の黒いうちは出荷は許さん」と言わしめた実力を味わう。

武蔵の里 純米大吟醸 H10BY大古酒 1.8L

4,608円 詳細はクリック!

#### 純然たる熟成香!

平成17年に搾られた速醸純米の古酒。食欲をそそる熟成香と、昆布出汁のように凝縮した旨味に、熟成酒の原点を見る。

奥播磨 宮の井 純米 H17BY 古酒 1.8L

2,098円 詳細はクリック!

## (ビールのお買い物まとめ) 酒税改革・発泡酒・第3のビール酒税上昇案・(反響が大きかったため再掲載)

平成27年度は見送られたが、平成28年度以降の酒税改革で「発泡酒」と「第3のビール」の酒税を段階的に上げ、「ビール」の酒税は段階的に下げ、最終的には酒税額を揃えるという政府案が出てきている。現在350ミリリットル缶当たりの酒税額は、

ビールが77円、発泡酒47円、第3のビール28円 この税額を段階的に見直し、最終的に約55円に一本化したらしい。ということは、「ビール」は減税で小売価格が下がり、「発泡酒」と「第3のビール」は増税で小売価格が上がることになる。そうすると各ビールメーカーが、企業努力により開発してきた「発泡酒」や「第3のビール」という「なんちゃってビール」のジャンルは、風前の灯火となるかもしれない。同じ価格なら一般的には「ビール」を呑むもんね。やっぱ「味」と「コク」が違うからね。ただ苦みが強いビールが苦手な最近の若者はそうでもないかな？(笑) 私的にはこの税制改革を推し進めてもらいたい、とも思う。なぜなら、これでまた「本物ビール」に脚光があたり、「本物ビール」が「偽ビール(発泡酒・第3のビール)」を駆逐するかもしれない・・・。本物への回帰だ。それを考えるとワクワクする。(^-)☆ しかし「本物ビール」と「偽物ビール」を同じ枠組みに入れようとするような矛盾には当惑する、というのも本音だ。

そもそも本場ドイツでは、酒税法上「麦芽100%」でないと「ビール」と認められないのだ。日本では「エビス」「プレミアムモルツ」「一番搾り」などの原材料表示を見ると、「麦芽」「ホップ」のみであり、ドイツでいうところの本物の「ビール」ということになる。ところがだ・・・例えば「スーパードライ」や「ラガー」の原材料を見ると、「麦芽」「ホップ」「米」「コーン」「スターチ」となる。麦芽とホップ以外の副原料がこんなに使われているのだ。ドイツで言えばこれらは「なんちゃってビール」ということにもなるんだろうなあ。ただ日本では「ホップ」と「水」を除く原材料における「麦芽」使用率が3分の2以上、すなわち麦芽使用率「67%」以上なら「ビール」と認められている。それ故に余分な副原料を使用して、①原材料単価を安くしたり・・・、あるいは②麦芽100%では出せない日本独特の喉ごしの「スッキリ感」「ドライ感」を出したり・・・③味を整えたり・・・する傾向にある。ただ、これを「是」とするか「非」とするかは、各人の嗜好に委ねられる・・・。

これが「発泡酒」になると、「麦芽使用率25%未満」となり、原材料は、「麦芽」「ホップ」「米」「コーン」「スターチ」「糖類」となる。

「第3のビール」になると2種類あり・・・①「その他の醸造酒(発泡性)」:例えば「のどごし」の原材料は、「ホップ」「糖類」「大豆たんぱく」「酵母エキス」(ビールに必要であるべき「麦芽」は一切使用していない)

②「リキュール(発泡性)」:例えば「アサヒ クリア」の原材料は、「発泡酒(麦芽・ホップ・大麦・コーン・スターチ)」・「スピリッツ(大麦)」(言いかえれば、麦風味の「ウォッカ」を「発泡酒」で割ったと考えれば良いかと・・・)

こうして見てくると「発泡酒」や「第3のビール」は、味わいを似せてはいるが、やはり「ビール」とは全くかけ離れた存在であることがわかってくる。これらの税率を1本化しようとする政府の酒税政策は、「本物」も「偽物」も一緒の枠に入れようとする試みであり、日本が誇る酒文化を世界的に貶めるような法改正に思える。私は抜本的に理解できないし、何か矛盾を感じざるを得ない。

日本の酒税制度の枠組みのニッチ(隙間)を突くビールメーカーの企業努力により、①安価に呑める「偽ビール」が開発され、②それらを美味しくなくても経済的なので我慢して呑むことを受け入れた日本国民。そして③そんな国民のささやかな愉しみを、全否定する施策をとろうとする日本政府の後出しじゃんけ的な酒税改革・・・。何か全てが矛盾だらけに感じるのは私だけだろうか？

これら「ビール」と「発泡酒・第3のビール」との関係は、「日本酒」における「純米酒」と「醸造用アルコール・調味液を添加した日本酒」と似ている。(税制上では同じ「清酒」の枠組みに入っている。) 個人的には酒税法上の分類は、現状の通り「ビール」と「発泡酒」・「第3のビール」は明確に分けておいて欲しいし、また、現状同じ「清酒」区分にある「純米酒」と「アル添酒」・「アルコール・調味液添加酒」は、別物として分類するほうが分かりやすいようにも思う。「ドイツのビール文化」や「フランスのワイン文化」が世界的地位を確立しているのは、酒税法上に明確な格付けがなされているのも大きな要因だろう。それにより世界的に「信頼」「信用」が担保されている。「日本の酒文化」も世界的に信頼されるような法制上の分類で、厳格に守っていただくような税制改革であれば良いなあ、などと考える今日この頃・・・。そこで「酒税改革」と「なんちゃってビール」への批判と、お客様への奉仕の意味を込めて、当店では、「発泡酒」と「第3のビール」の価格を下げて、「ビール」との区別を分かり易くしたいと思います。(酒税変更時まで)

酒税改革・偽ビールへの批判を込めて  
発泡酒・第3のビール  
値下げします。

### 第3のビール

キリン のどごし  
アサヒ クリア  
サッポロ ドラフトワン  
サントリー 金麦  
.....etc

350ml缶 1ケース  
(24本入り)

税込

2,590円

### 発泡酒

キリン 淡麗  
キリン 淡麗プラチナダブル  
キリン 淡麗グリーンラベル  
アサヒ 本生ドラフト  
アサヒ 本生スタイルフリー  
.....etc

350ml缶 1ケース  
(24本入り)

税込

2,990円

